令和8年度

意見交換会報告書

地区	月　日	会　場	参加者	議　員　（先頭が班長）
小松	8月18日（火）	小松地区交流センター	13人	遠藤明子、髙橋輝行、伊藤進、吉村徹、寒河江司、鈴木孝之
中郡	8月18日（火）	中郡地区交流センター	8人	鈴木幸廣、橋本欣一、神村建二、渡部秀一、寒河江寿樹、舩山千鶴
大塚	8月19日（水）	大塚地区交流センター	6人	遠藤明子、髙橋輝行、伊藤進、吉村徹、寒河江司、鈴木孝之

令和8年度意見交換会まとめ

地区	月 日	会　場	参加者	議　員（先頭が班長）						
小松	8月18日	地区交流センター	13人	遠藤明子	髙橋輝行	伊藤　進	吉村　徹	寒河江司	鈴木孝之	
中郡	8月18日	地区交流センター	8人	鈴木幸廣	橋本欣一	神村建二	渡部秀一	寒河江寿樹	舩山千鶴	
大塚	8月19日	地区交流センター	6人	遠藤明子	髙橋輝行	伊藤　進	吉村　徹	寒河江司	鈴木孝之	

質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
1、中心市街地及びメディカルタウンを核とした賑わいづくりについて	
○次の3点についてお聞きしたい。 ・今回のテーマを選んだ理由について。 ・各地区のテーマは同じなのか。 ・意見・要望をどのように町政に反映していくのか。	●二つの常任委員会でテーマについて話し合いを行い選定した。テーマの内容は各地区同じ。皆さんから頂いた意見要望は取りまとめの後、内容を精査して出席者の方々へ郵送のうえ回答している。議会としては、政策提言書にて町長へ提出し、町民の皆さんの声を反映していく。さらに、議会だよりで町民の皆さんに報告している。
○中心市街地とメディカルタウンのつながりがよくわからない。	●小松地区のまちりあ、大塚地区のメディカルタウンを中心とした二つの賑わいの拠点をどうつなげていくかが課題となっている。
○メディカルタウンの人口はどのくらい増えたのか。 経済効果の算出方法・定住人口の計画根拠について調べて報告してほしい。	●期待をし、後押しをしていく。また、米沢に住んでいる人が米沢八幡原の会社に通勤するのに、道路事情が良いため、わざわざ大塚に家を建てた事例もある。 ●北側区域17世帯で50人。期待される効果として、定住人口250～350人、経済効果10年で約55億円となっているが、商業施設や住宅等の建築費、雇用創出による所得の増加、定住人口の増加による消費支出の増加等が主な内容である。
○メディカルタウン整備に伴い、期待される経済効果と定住人口について、人口減少が進むなか計画の実効性はどうなのか。	●執行者は町長だが、議会も良しとして承認したので一緒に取り組んで行く。 ●持ち帰り回答 【政策推進課】 医療・商業施設の整備で経済循環と雇用が創出され、さらに道路改善や生活利便性の向上により地域の魅力が高まった結果、現時点で50人の定住に繋がり、人口減少が緩和されている。
○大塚小学校は最終的な統廃合校になるが、メディカルタウンの人口動向も踏まえつつ、小松小学校との統合は決定しているのか。	●大塚小学校の統合について、令和16年度に小松小学校への統合で計画は進められているが、メディカルタウンの動向を注視しながらとなる。 ●持ち帰り回答 【教育文化課】 令和8年2月に策定した川西町立小学校適正配置計画では、町内の小学校を最終的に1校とする方針としており、大塚小学校と小松小学校の統合自体は決定している。 メディカルタウンの人口動向等によっては、統合の時期が変更となる可能性がある。
○メディカルタウンは置賜病院の勤務者等が近くに住みたいとの要望から計画されたものであるが、南側43区画は希望調査の結果を踏まえて造成計画されたのか。 また、希望者は実際に居住しているのか。	●居住していない。 ●持ち帰り回答 【政策推進課】 本事業は置賜病院の要望を契機としているが、希望調査のみを根拠とするものではない。道路の地理的優位性を生かした「地方創生の拠点」として、人口減少緩和を目指し戦略的に整備を進めている。現在着手している住宅区域南側の整備についても、山形県住宅供給公社と緊密に連携し、市場動向や需要の先行きを見据えながら、着実な進捗を図っている。

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
1	○メディカルタウン北側公共区域の活用は今後どのようになっていくのか。自治会の方々がコミュニティとして使える施設を公共区域内または商業区域内のスペースにでも建設してほしい。	●持ち帰り回答 【政策推進課】 令和5年度策定の基本構想に基づき、今後は整備基本計画等の策定を進めていく。住民要望の把握や有利な財源の検証を行うため、整備には一定の期間を要する見込みである。また、コミュニティ施設の必要性についても、地域による管理の在り方を含め、町内全体の配置バランスや利用状況を勘案し、総合的に検討していく。
	○大塚地区内に水害時の避難所がないため、公共区域内に公的な避難場所を建設できないか。	●持ち帰り回答 【政策推進課】 大塚地区の避難所確保は、住民の安全に関わる重要課題と認識している。公共区域の活用にあたっては、有事の避難機能のみならず、平時における利活用も含めた多角的な視点から検討を進めていく。
	○地震対策について、災害時の避難場所として交流センター・小学校がその役割を担う施設になると思うが、地震災害は広域化して避難する人数も多くなることが想定されるので、それなりの施設が必要と思う。併せて、水や食料の備蓄体制についても検討してほしい。	●ご意見として承った。
	○メディカルタウンを掲げた地域づくりを実施している自治体は、全国にどの程度あるのか。また、先進地視察等を実施した経緯はあるのか。	●長井市今泉の開発も含めて広域的に進められている。 ●持ち帰り回答 【政策推進課】 医療主眼の地域づくりは全国に多数あるが、本町のように「メディカルタウン」を明記する事例は、千葉県船橋市など限定的である。他自治体では主に「医療・福祉の拠点形成」や「健康長寿のまち」として取り組まれている。なお、類似事業の先進地視察としては、これまで宮城県や岩手県などの各自治体へ赴いた経緯がある。
	○川西町で多くの計画が進められているが、たくさんあってわかりづらい。中心市街地について教えてほしい。	●中心市街地まちづくり計画は、計画期間が20年で将来の目指すべき方向性を示すものである。 ●中心市街地とメディカルタウンを一緒にしたのは賑わいづくりをテーマとしたため。中心市街地まちづくり計画をベースに立地適性化計画において、まちなかテラス・駅前の川西診療所の建設、次の事業と計画を進める。
	○駅前自由通路等の請願が出ている。議会だよりでは採択とあるが、どういう形で進められているか町民はわからない。中心市街地の活性化をどうすると言われても、どういう意見を言ったらいいかわからない。まちりあを利用するには、何もなければ人は集まらない。財政の問題もあるが、諸問題が解決されなければ、中心市街地の活性化はない。	●ご意見として承った。
	○意見交換会のテーマについて、町民がわかりやすい内容を整理して準備頂き、多くの方が参加し、議論できるようにしてほしい。	●ご意見として承った。
	○診療所整備予定地の場所が狭く、レイアウトも不明である。駅前の駐車場が無くなるのではないかとの懸念の声も出ている。	●持ち帰り回答 【健康子育て課】 新診療所の建設地の検討に際しては、⑴川西町立地適正化計画による都市機能誘導区域で新診療所整備に必要な面積が確保されること、⑵町有地の活用ができること、⑶中心市街地のまちづくり活性化に資すること、⑷災害リスクが低いことを基本的な考え方とし、JR羽前小松駅の西側に有する町有地と隣接する民有地の一部譲渡地としたところである。新診療所の敷地面積は約1,700㎡であり、建設スペース600㎡、駐車場スペース560㎡（駐車台数26台）、通路等540㎡を計画し、現在、配置計画を含めた建築設計を進めている。また、駅前の駐車場は診療所の敷地となるが、診療所の閉所日や夜間はこれまで通り駅前駐車場として利用できるよう調整していく。

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
	○駅東側の未利用地を活用せずに他の開発を進めるのはどうなのか。町はどの程度の財政負担をしているのか。また、スノードームはいつまで現状のまま放置されるのか。	●持ち帰り回答 【政策推進課】 町内の土地利用については、地域の優先課題や全体計画のバランスを勘案しながら総合的に進めている。ご指摘の土地については、町が土地開発公社より、平成30年度に土地開発基金を使って46,137,422円で取得している。現在は地域の堆雪場として有効活用している。 【教育文化課】 スノードームについて、令和8年度現在フレンドリープラザの雪冷房システムとして使用している状況である。
	○関係人口を増やす。人がいなければ賑わいもないわけなので、人口を増やす取り組みとして企業誘致、若者が働ける場所の整備を行う。湖山病院関係、福祉施設の維持について取り組んでほしい。国交省へ何度も出向いて交渉してほしい。	●ご意見として承った。
	○計画で小松駅周辺を中心に指定しているが、具体的な「手段」が弱い。まず駅周辺の空き家・空き地をデータベース化して可視化すべき。その上で、改修補助、解体補助、取得補助などの制度を整えて支援しなければ定住や民間活用は進まない。	●データベース化は大変貴重なご意見だと思う。町当局に伝えていく。 また、関係人口を増やすような方向に町は考えている。
	○メディカルタウンという一部の地域のみが集中的に発展し、中郡、吉島や大塚など周辺の地域が取り残されて衰退（空洞化）する懸念がある。メディカルタウン単体での発展を目指すのではなく、その機能を周辺地域へ分散させ、地域同士を融合・連携させて持続できるようにすべきではないか。	●川西町中心市街地まちづくり計画における4つの丘の話をし納得を得た。 また、中郡と吉島の活性化についても町当局に伝えていく。
	○国道287号及び町道雑魚田茨虫線の交差点における信号機設置の要望について、現在の進捗状況はどうなっているか。また、当該信号機の設置は道路計画に含まれているか。	●道路計画の段階で信号機を設置する所が決まるようなので確認する。 計画になければ、国道287号の四枠交差点及び県道大塚米沢線の坂町交差点において、すでに信号機が設置されていることも考慮して設置を求めていきたい。 ●持ち帰り回答 【住民課】 置賜総合支庁道路計画課に確認したところ、当該信号機の設置は計画していないとの回答であった。なお、信号機の設置の可否については、山形県公安委員会が所管のため、米沢警察署に確認したところ、中郡地区からの要望内容は十分承知しているとの回答であった。
	○コンパクトシティの考え方や過疎化により小松地区の集合住宅の生活になるのではないか。	●愛着のある土地などから離れるのは難しいと思う。水道配管や除雪などを考えると理想的な考えだと思うが、難しいと思う。
	○バイパス同盟会に参加しない議員がいる。参加してほしい。	●ご意見として承った。
	○地区に空き家が多くなっている。除雪や、その他生活サービスが不十分で出て行った人がいる。	●道路除雪は、優先路線から下位路線で時間がずれるおそれがあるが、午前7時30分までに終了することとなっている。吹き溜まりなどについては個別に対応するよう要望していく。
	○まちなかテラスの収入はどうか。収益があったほうが良いのでは。	●ご意見として承った。

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
	2、空き家対策について	
2	○小松地区として毎年空き家対策の要望を出している。解体の方策、どのような手法があるか教えてほしい。町で実施した解体費用は、所有者から徴収したのか。今後、空き家が増えると思うので、そういうものを活かして集合住宅を作るなど人口を維持してほしい。	●解体するには町の補助金を活用頂きたい。行政代執行（所有者確認）と略式代執行（所有者不明）があり、行政代執行2件分は回収した。
	○相続放棄した空き家の解体は町が主体的に行うのか。 所有者が所得状況等により返還できないと判断した場合、町が単独で解体できるのか。	●相続放棄案件は所有者がいないので、略式代執行になる。
	○空き家の撤去費用の補助額では撤去が進まないのでは。	●財政的に厳しいが、空き家解体のきっかけとなる補助金である。
	○空き家の危険度C・Dランクについて、町としては所有者に対してどのような対応をしているか。	●文書にて適正な管理を依頼している。
	○所有者不明の空き家の件数はどの程度あるのか。特に、C・Dランクで所有者の同意が得られなければ解体できない物件について、全地区の状況を把握していれば教えてほしい。 また、対応の仕方についても説明してほしい。	●持ち帰り回答 【住民課】 所有者等が不明な空き家の件数については、把握できていない。 ●町としては、補助金を出しながら解体費用の支援をしている。行政代執行又は略式代執行（所有者不明）を行う。
	○空き家バンクについて、ホームページに掲載しているか。	●町のホームページに掲載されている。
	○川西町で不動産取引の業者はいるのか。	●町内にはいない。
	○空き家バンクの登録情報について、地域の不動産業者にも情報提供を行っているか。	●持ち帰り回答 【住民課】 空き家バンクの登録情報については、町のホームページに掲載し情報発信を行っているが、地域の不動産業者への直接の情報提供は行っていない。 なお、空き家バンクの登録にあたっては、山形県宅地建物取引業協会南陽に物件の調査を委託しており、空き家バンク登録後は調査を行った事業者が物件の仲介を行っている。
	○空き家の利活用について、PRや参考になる意見があれば教えてほしい。	●町ホームページで詳細を紹介している。農業をやりたくてホームページを見て来た方や古民家を利用してカフェを開いている方もいる。
	○かつて空き家だった場所が購入されて住んでいる方がいる。空き屋物件を求める方が増える可能性もあると思うので、内容を分析して、町当局で何か把握していることや担当部署がどこなのか教えてほしい。	●担当部署は住民課で対応している。移住・定住対応については川西町観光交流協会が担っている。町のホームページで空き家情報を発信している。
	○空き家を活用した定住希望者支援のプロジェクトはあるのか。 ○思い切った事業に取り組めないか。移住・定住につながるしかけづくりがないか。空き家バンクはわかるが、古い住宅は損傷が進むのが早い。2～5年経てば住める物件でも住めなくなる。	●持ち帰り回答 【商工観光課】 移住定住希望者から相談があった際には、空き家バンクの紹介をはじめ、住まいや移住に対する各種支援についてご案内している。 ●町のホームページを見て移住した方がいる。やはり、空き家になるとわかってから2～3年と時間が経過すると損傷が激しく利用価値が低下する。

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
	○施設入所で空き家となることが判明している場合等、関係各課で情報を共有し、事前に相談を受ける等、連携して対応できる体制が整えられているか。	●持ち帰り回答 【福祉介護課】 相談があった場合や事案が生じた時点で、関係課と連携し対応を行っている。
3	**3、その他**	
	○川西町は米作りが中心で農業が基本の町だと思っている。ここ2、3年米価がすごく上がっていて食べる方は大変苦しい。今後の見通しや考えをお聞かせ願いたい。	●他県の状況を見れば、今年の米価は下がるのではないか。
	○7月豪雨では176mm位降雨があった。常習地帯の整備要望を町長へ行ったが、ダリヤ園公園下等水路の維持管理や除塵機の設置要望した所もあり、水害対策に取り組んでほしい。	●貴重なご意見として承った。
	○7月豪雨時、東陽寺付近道路で宮城県ナンバーの車両が動けなくなっていた。対策本部が設置されたが、通行止め等看板設置なし。常習地帯の巡回や迅速な対応を望む。	●貴重なご意見として承った。
	○ダリヤ園鏡沼脇の道路補修工事を早急に実施してほしい。	●持ち帰り回答 【地域整備課】 今後、災害復旧工事を予定しており、早期復旧に向けて努めていく。
	○113号線バイパスと米坂線が交差する場所にある一里塚桧線町道踏切が非常に狭く除雪作業も困難であり、電柱等の障害物もあるため、道路の拡張をお願いしたい。	●持ち帰り回答 【地域整備課】 交通量を把握しながら検討していく。
	○7月議会だよりに水道料金値上げの記事が掲載されていた。付帯決議についてはそのとおりだと思う。農業集落排水の老朽化が心配だが、（農水省管轄）延命策をどのように進めるかが大事である。財政が厳しいことを考慮して検討してほしい。施設利用料金改定に係る条例改正は理解したが、分かりやすく内容を記載してほしい。	●条例についてはそのとおりであり、町当局と一緒に勉強しながら対応していきたい。老朽化についても同様である。貴重なご意見として承った。
	○水道事業は、東置賜一本で合同で実施できないか。	●町では要望事項について、二市二町で合同で取り組むよう県に要望している。事務は一緒でも修繕は該当市町負担となる。
	○学童保育の需要も年々増えている。幼児施設や小学校の統廃合が進むなか、地区内の学童保育をどのような位置付けとし、地域づくりと関連させていくのか。小学校及び地域との関係性について、現時点での見解をお聞きしたい。	●持ち帰り回答 【教育文化課】 学校統合により、学校と地域との関係が変化する中、学童保育を放課後の居場所としてだけでなく、学校・地域と連携して子どもを育てる場の一つとして捉え、地域づくりにつながる関係づくりを検討していく。
	○小松小学校の改築の際に学童保育を小学校の中で行っている。他の地区も空き教室を使って取り組むことが良いと思う。 （上記質問に対してのご意見）	

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
	○川西町の歴史の深堀や魅力発信について、まだまだ可能性があると思う。長井市の地域おこし協力隊の事例等を参考に、川西町は発信できるものがあると思うので一考頂ければありがたい。	●ご意見として承った。
	○一般質問をする議員が固定化しているのはどうか。	●固定化しているわけではない。
	○恩送りポイントの内容について	●この意見交換会については、受付で住所と氏名を記入いただければ200ポイントが２日～１週間後に付与される。使用期限は今年度中である。今年度の予算は100万円で、対象事業は配布している資料に記載のとおりであり、詳細は事業ごとにお知らせすることとなっている。
	○ダリヤペイに入るポイントは各200ポイントとあるが、出席者で200ポイントを分けるのか。	●出席者全員に200ポイントが入る。
	○ポイントで参加者を釣るということではないだろうが、もう少し町民が参加できるような状況を作ってほしい。	●ご意見として承った。
	○ダリヤペイとアプリが連動していない。	●ダリヤペイカードから携帯電話のチーカアプリに入れて使用願いたい。